



# Flash News

〈フラッシュニュース〉

三重大学

第34号

目次

- 環境ISO認証取得キックオフ大会
- 富士電機リテイルシステムズ㈱と産学連携推進に関する包括協定を締結
- 国際治験ネットの核として始動
- 生協創立35周年
- 「青少年のための科学の祭典」第3回三重大学大会
- 平成17年度第2回「県との定期懇談会」
- 「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒発表会」開催される
- 平成18年度キャンパス・インキュベータ入居者決定
- 附属中1年生が第5回全国中学生作文コンクールで最優秀賞

## 環境ISO認証取得キックオフ大会

2月21日、標記大会がメディアホールで開催されました。最高責任者の豊田学長より「環境方針」＝「深刻な公害問題を経験した三重県における唯一の国立総合大学として、地球環境や地域の環境問題に対して主体的に取り組み、次世代に持続可能な地球社会を引き継ぐ使命を担うことのできる環境先進大学を目指します」が宣言され、続いて、学生委員会の13名の学生が「MIEキャンパス宣言」＝「地球上のすべての生き物へ、未来の世代へ、そして地球へ伝える”MIEキャンパス”を実現します」を力強く宣言し、来賓（三重県、津市、近隣の小中高校および大学、関連企業、環境団体、ボランティア団体等）や参加者から盛大な喝采を浴びました。引き続き、



「MIEキャンパス宣言」



3年前に認証取得された千葉商科大学の三橋規宏教授より記念講演：「環境が大学を元気にする99対1の原則を実践しよう」があり、環境マネジメントシステムを推進する先輩大学としてのさまざまな工夫と成果が示され、本学の活動へもエールが送られました。今後、環境SO推進室（室長：朴恵淑教授・人文学部）と学生委員会（委員長：木村祐哉・工学部2回生）が中心となって2007年9月までに認証取得できるよう準備を進めていきますので、ご理解とご支援をお願いいたします。  
 (写真奥より 豊田学長、渡邊理事、朴教授、木村学生委員長)

## 富士電機リテイルシステムズ㈱と産学連携推進に関する包括協定を締結

本学は2月22日、富士電機リテイルシステムズ㈱との間で産学連携推進に関する包括協定を締結しました。調印式は、三翠会館で豊田学長、宮崎社長および関係者の出席のもと執り行われました。これまでも、本学と同社は、環境対策の観点から省エネ技術開発等の個別の共同研究において協力を行ってきましたが、今後は連携協議会を立ち上げ、相互の幅広い連携を通じて、研究開発、人材交流および人材育成などを図り、個々の連携から組織と組織への対応へと、シナジー効果を発揮させ且つ持続的な連携を図ることとしました。



(写真左側 豊田学長、右側 富士電機リテイルシステムズ㈱ 宮崎社長)

## 国際治験ネットの核として始動

新薬の開発にかかせない「治験」（ヒトを対象とした安全性や薬効の臨床試験）を地域ぐるみで実施する「みえ治験医療ネットワーク」が、三重大医学部を中心に三重県医師会、三重県（行政）が参加して2003年に発足しています。その運営は、NPO法人「みえ治験医療ネット」（常務理事:西川政勝講師・大学院医学系研究科）（<http://mie-cts.net>）が行っています。医学部では、このネットワークの枠をさらに国内の大学医療機関に広げる（がんワクチン治療グループ：CVCJapanなど）とともに、日本で初めて環太平洋地域の大学や医療機関が参加する「癌治験コンソーシアム(CTRG)」に加わることが決まりました。また、2006年1月には、様々な臨床試験を支援するため臨床研究開発センターが設立されました。

## 生協創立35周年



三重大学生協は、1970年に創立以来、2005年度で創立35周年を迎えました。昨年4月には第1食堂をリニューアルし、そのお披露目と35周年を記念して1月26日、渡邊理事、福島理事、森野理事をはじめとした約210名の教職員・学生・生協関係者等が参加し、「三重大学生協同組合35周年レセプション」が盛大に開催されました。地酒や松阪牛・伊勢うどん、まぐろの解体等の料理と共に、ケルト音楽サークル（ゴールウェイ）の演奏や応援団のステージなど盛りだくさんのプログラムが用意され、参加者からの「今後も三重大学の発展のために寄与したい」との声が聞かれるなど、大変有意義な催しとなりました。

## 「青少年のための科学の祭典」第3回三重大学大会

標記大会（実行委員長：豊田学長）が2月4-5日に本学三翠ホールで開催されました。「科学の祭典」は全国的に開催されている科学啓発活動で、本大会では大学教員と学生のボランティア等による34ブースの出展がありました。初日は朝から積雪となり、開催が心配されましたが、2日間で2,735名の来場者があり、スタッフも加えると、3,015名の参加となりました。来場した子どもたちは、実験や工作を楽しみながら科学を学び、同伴の父兄にも科学に関心を高めてもらうよい機会となりました。



## 平成17年度第2回「県との定期懇談会」

2月7日、標記懇談会が開催され、豊田学長、全理事及び生物資源学部長、医学部附属病院長と野呂知事、副知事、出納長の他、関係部局長数名は、和やかな雰囲気の下で活発な意見交換が行われました。主な議題として、医療等連携体制の充実に関して、双方の意見調整の論点整理が行われたほか、三重大学からは〔伊勢湾生成プロジェクト、国際交流の宿舍確保問題、三重大学振興基金、環境ISOキックオフなど〕と三重県からは〔みえの文化力指針、知的財産戦略ビジョン、GISの活用、産学官連携など〕の議題について、具体的な前進にむけての意見が交わされ、有意義な会合となりました。

## 「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒発表会」開催される



2月11日、SSHの課題研究にチャレンジした松阪高校生らによる14件の発表会が三翠ホールで開催されました。同高校の生徒や先生、本学教員・学生をはじめ文科省・県教育委員会等の参加者160名を前にした研究発表は堂々として、内容と共に、質疑応答も高校生とは思えない的確なやり取りでした。課題研究は医学部、工学部、生物資源学部の大学教員らの適切な指導のもとに行われたもので、審査の結果、金賞は「物理学から蛍光灯を学ぶ」（指導教員：中村修平教授・工学部）でした。

## 平成18年度キャンパス・インキュベータ入居者決定

平成18年度三重大学キャンパス・インキュベータの入居企業が決定しました。新規・継続を含め16社（プレベンチャーを含む）の申請があり、1次、2次審査を行った結果、11社の入居が決められました。そのうち、新規入居ベンチャー企業は3社で、工学部・生物資源学部からの新事業創出が評価されました。現在、三重大学発ベンチャーは11社あり、今後さらに新規事業が展開されることが期待されます。

## 平成18年度三重大学キャンパス・インキュベータ入居予定ベンチャー企業

(株)H I D	} 継続入居
(株)イミュノフロンティア	
(株)機能食品研究所	
(株)細胞外基質研究所	
(株)医用工学研究所	
(有)ジオワーク	} 新規入居
(株)イーラボ・エクスぺリエンス	
(株)データスピリット	
ナノハイブリッド研究所（予定）	
(株)プリンシプル（予定）	} 新規入居
(有)デ・ウエスタン・セラピテクス研究所	

## 附属中1年生が第5回全国中学生作文コンクールで最優秀賞

標記作文コンクールで、附属中学校1年生櫻川成大さんの作品「僕の家の消防団員」（<http://www.nissho.or.jp/whatnew/060131concour.htm>）が、最優秀賞に選ばれ、2月7日、東京から日本消防協会会長が附属中学校に来校し、教育学部長や両親らを来賓に招いて、盛大な表彰式を行いました。

作文は、津市女性消防団員で分団長を務める母親が消火補助などの消防活動をする様子を自分の気持ちを交えて書いたもので、表彰式では櫻川さんが最優秀賞を受賞した作文を堂々と朗読し、会場から大きな拍手が贈られました。



## 投稿のお願い

各種事項（大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等）に関するフレッシュなニュース提供をお待ちしています。

亀岡孝治 (vpre-info@mie-u.ac.jp) または 井上真理子 (mariko-i@ab.mie-u.ac.jp) まで。場合によっては、取材に向きます。

《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページで (<http://www.mie-u.ac.jp>) ご覧いただけます。》 編集責任者 / 理事・副学長 渡邊悌爾